

# 有明の丘研修について

1. 令和5年度 有明の丘研修（第1期）の実施結果
2. 令和5年度 有明の丘研修（第2期）の実施
3. 防災基礎コースのリニューアル
4. 防災基礎コース以外のリニューアル

# 1. 令和5年度有明の丘研修（第1期）の実施結果

## ● 応募・修了状況

2023.11.29集計時点  
第1期 LMSは10月31日まで公開  
防災基礎コースは3月4日まで公開

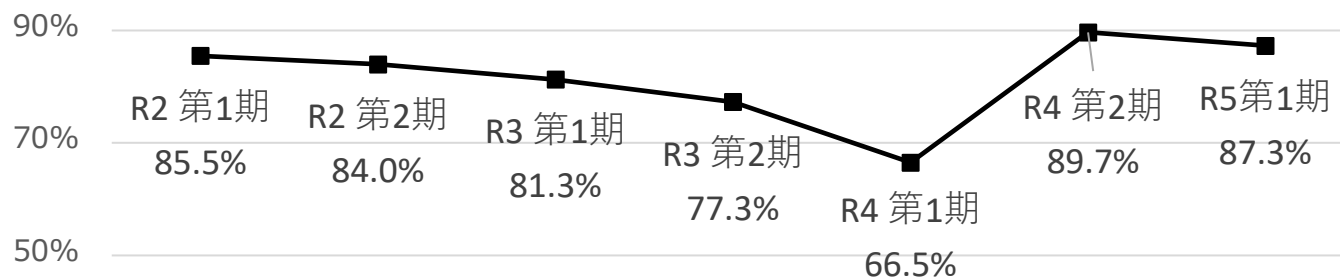
| コース名   | 第1期 申込・修了状況 |           |                 |          |          |       | R4 第2期      |                |       |       |       |
|--------|-------------|-----------|-----------------|----------|----------|-------|-------------|----------------|-------|-------|-------|
|        | 応募者数<br>(a) | 定員<br>(b) | 倍率<br>(a) / (b) | 受講者<br>数 | 修了者<br>数 | 修了率   | 応募者数<br>(c) | 倍率<br>(c) / 60 | 修了率   |       |       |
| 防災基礎   | 789         | —         | —               | 786      | 355      | 45.1% | 141         | 2.35倍          | 91.7% |       |       |
| 災害対策   | ②災害への備え     | 実務担当      | 67              | 60       | 1.12倍    | 60    | 55          | 91.7%          | 133   | 2.22倍 | 91.7% |
|        |             | 一般管理      | 71              | 60       | 1.18倍    | 60    | 54          | 90.0%          |       |       |       |
|        | ③警報避難       | 実務担当      | 59              | 60       | 0.98倍    | 59    | 55          | 93.2%          | 98    | 1.63倍 | 93.3% |
|        |             | 一般管理      | 61              | 60       | 1.02倍    | 60    | 54          | 90.0%          |       |       |       |
|        | ④応急活動・資源管理  | 実務担当      | 49              | 60       | 0.82倍    | 49    | 44          | 89.8%          | 92    | 1.53倍 | 93.3% |
|        |             | 一般管理      | 58              | 60       | 0.97倍    | 58    | 49          | 84.5%          |       |       |       |
|        | ⑤被災者支援      | 実務担当      | 33              | 60       | 0.55倍    | 33    | 30          | 90.9%          | 92    | 1.53倍 | 91.7% |
|        |             | 一般管理      | 44              | 60       | 0.73倍    | 44    | 37          | 84.1%          |       |       |       |
| ⑥復旧・復興 | 実務担当        | 26        | 60              | 0.43倍    | 26       | 23    | 88.5%       | 55             | 0.92倍 | 89.1% |       |
|        | 一般管理        | 26        | 60              | 0.43倍    | 26       | 21    | 80.8%       |                |       |       |       |
| 組織運営   | ⑦指揮統制       | 上級管理      | 34              | 60       | 0.57倍    | 34    | 28          | 82.4%          | 74    | 1.23倍 | 86.7% |
|        | ⑧対策立案       | 上級管理      | 47              | 60       | 0.78倍    | 47    | 38          | 80.9%          | 93    | 1.55倍 | 85.0% |
|        | ⑨人材育成       | 上級管理      | 29              | 60       | 0.48倍    | 29    | 24          | 82.8%          | 55    | 0.92倍 | 81.7% |
|        | ⑩総合監理       | 上級管理      | 23              | 60       | 0.38倍    | 23    | 19          | 82.6%          | 58    | 0.97倍 | 93.1% |
| ②～⑩の合計 |             |           | 627             | 840      | 0.75倍    | 608   | 531         | 87.3%          | 891   | 1.49倍 | 89.7% |

# 令和5年度 第1期までの修了状況の推移

2023.11.29集計時点  
第1期 LMSは10月31日まで公開

| コース名       | R2 第1期 | R2 第2期 | R3 第1期 | R3 第2期 | R4 第1期 | R4 第2期 | R5第1期 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| ①防災基礎      | 83.3%  | 90.0%  | 86.7%  | 76.6%  | 62.7%  | 91.7%  | —     |
| ②災害への備え    | 90.0%  | 83.3%  | 90.0%  | 71.7%  | 72.9%  | 91.7%  | 90.8% |
| ③警報避難      | 81.7%  | 90.0%  | 81.6%  | 71.7%  | 65.0%  | 93.3%  | 91.6% |
| ④応急活動・資源管理 | 81.7%  | 80.0%  | 93.3%  | 83.3%  | 69.5%  | 93.3%  | 86.9% |
| ⑤被災者支援     | 85.0%  | 81.7%  | 78.3%  | 73.3%  | 70.0%  | 91.7%  | 87.0% |
| ⑥復旧・復興     | 90.0%  | 78.3%  | 66.6%  | 76.6%  | 56.7%  | 89.1%  | 84.6% |
| ⑦指揮統制      | 91.7%  | 78.3%  | 83.3%  | 80.0%  | 56.7%  | 86.7%  | 82.4% |
| ⑧対策立案      | 81.7%  | 83.3%  | 75.0%  | 75.0%  | 75.0%  | 85.0%  | 80.9% |
| ⑨人材育成      | 81.7%  | 83.3%  | 85.0%  | 81.6%  | 70.0%  | 81.7%  | 82.8% |
| ⑩総合監理      | 88.3%  | 91.7%  | 73.3%  | 83.3%  | 66.7%  | 93.1%  | 82.6% |
| 平均         | 85.5%  | 84.0%  | 81.3%  | 77.3%  | 66.5%  | 89.7%  | 87.3% |

※R5平均は防災基礎を除く



# 令和5年度有明の丘研修（第1期）のアンケート結果

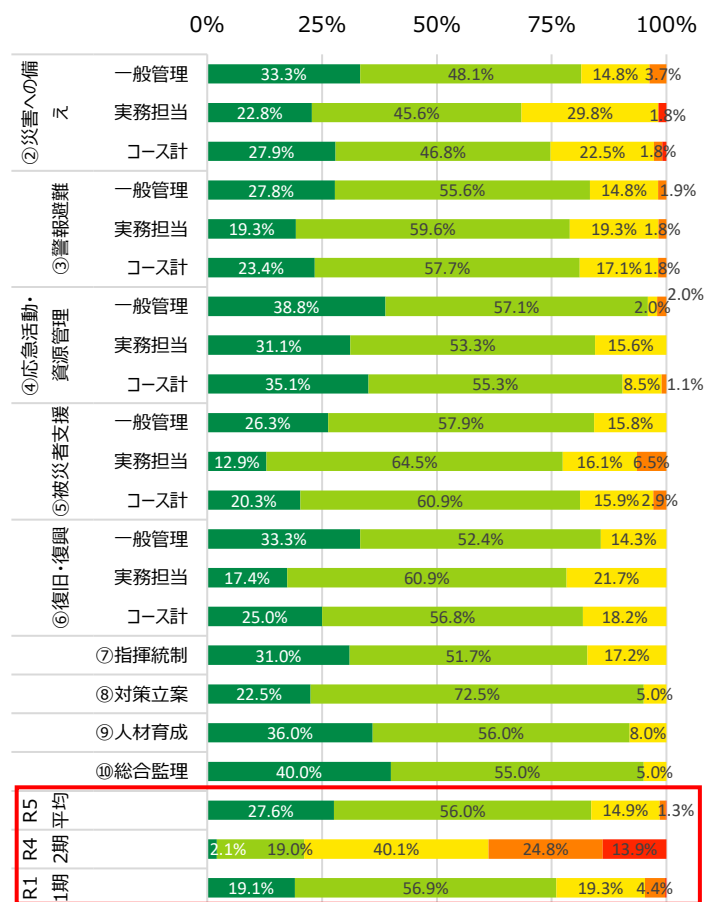
## 人的交流に関するアンケート結果

数値更新、組織運営の集計追加

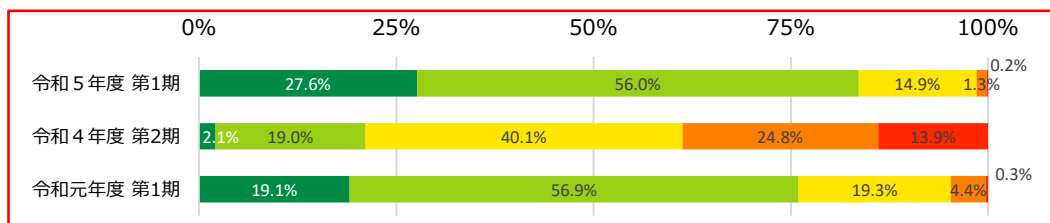
2023.11.29集計時点  
中間報告以降の追加箇所は赤字

### Q 人的ネットワークを作ることができましたか？

➡ 結果：組織運営4コースの集計結果を新たに加えたが、中間報告した災害対策5コースの傾向と大きな代わりはなく、人的交流の評価は高い（高評価：83.6%）。



### これまでの実施状況との比較抜粋



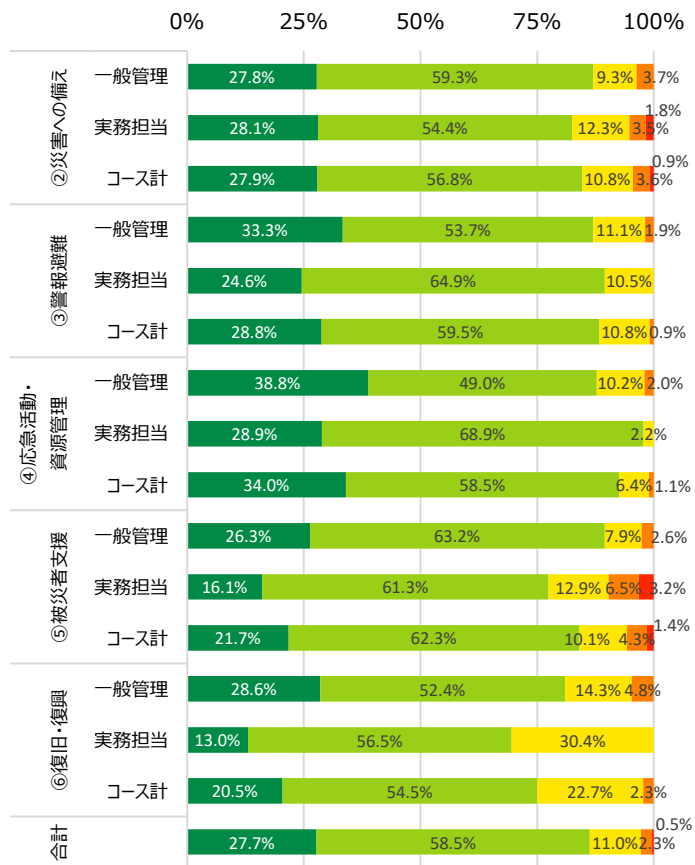
### 改善に関する意見(自由回答記述より抜粋)

- より多くの意見交換の場・機会を設けて欲しい(12人)
- 研修後に交流できる(掲示板、SNS、メーリングリスト等)仕組みがあると良い(10人→15人)
- 交流の場・機会を増やすため数日間の対面研修を実施して欲しい(7人→8人)
- 研修後のフォローアップ研修を実施してはどうか(6人→7人)
- 組織別(国、都道府県、市町村)での意見交換の場を設けてはどうか(4人)
- 昼食時間を交流の時間(ランチミーティング、名刺交換等)に活用してはどうか(4人)
- 事前に自己紹介プロフィールを共有してはしてはどうか(3人)
- 班メンバーを入替え、交流できる人を増やしてはどうか(2人)
- 他のネットワークと連携してはどうか。(1人)
- 演習前に交流できる場を設け、演習参加者同士の顔見せの機会としてはどうか(2人)

■ 非常にそう思う ■ そう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

**【コース別最終アンケート】** 本コースの演習は、「実務担当」と「一般管理」の職位別に実施しました。自らの職位に合った内容が学べましたか？

➔ **結果：中間報告時とほぼ同じ結果**だった。職位別演習の評価は高い（高評価：86.2%）。



■ 非常にそう思う    ■ そう思う    ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない    ■ そう思わない

## ● 受講者意見(自由回答記述より抜粋)

(良かった点)

- 同じような職位や立場の人の意見が聞けて良かった(11人)

(悪かった点、今後改善に向けたご要望等)

- 事前に職位別に学べる内容や違いを知りたかった(11人)
- 両方の職位の内容を学ぶべきではないか(4人)
- 職位合同の研修があっても良いのではないか(1人)
- 実務担当の受講枠を増やしてはどうか(1人)
- まずは実務担当コースを必修としてはどうか(1人)
- 一般管理は災害対応経験未経験の人が議論しにくそうだった。災害対応経験も加味してはどうか(2人)

### <被災者支援コース>

- 異なる職位の人が最後に一堂に会して議論するのは面白かった(1人)

### <復旧・復興コース>

- 復興は幅広い知識と経験が必要なため、知識を持っていない人は議論が難しそうだった(1人)

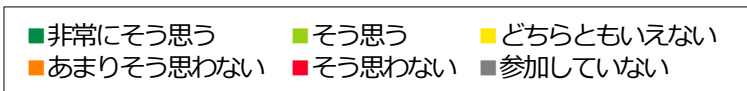
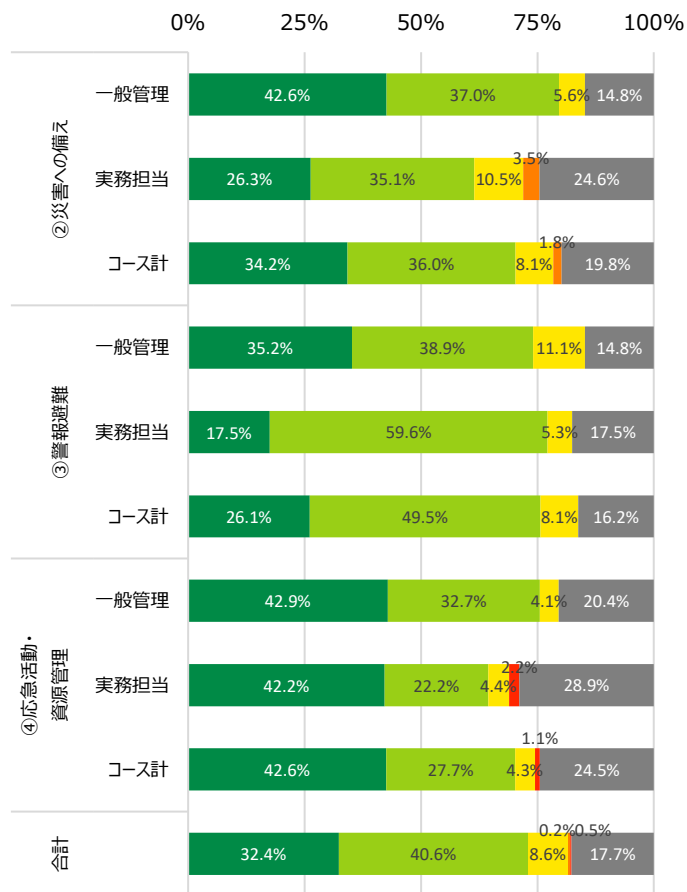
**※追加の自由回答意見なし**

# ■ 自主研修についてのアンケート結果 数値更新

2023.11.29集計時点  
中間報告以降の追加・更新箇所は赤字

## Q 演習（対面）当日の「自主研修」の時間は、満足できる内容でしたか？

➔ 結果：**中間報告時とほぼ同じ結果**だった。内容は概ね好評（高評価：73.0%）だったが、周知の遅れにより参加できなかった方も多いものと思われる（不参加：17.7%）。



## ● 受講者意見(自由回答記述より抜粋)

(良かった点)

- 普段聞けない話を聞いて参考になった(3人)
- [災害への備え] 他職種・他業種の防災の取組みを知れて良かった(1人)
- 前泊で参加したため空いた時間に受講できて良かった(1人)

(悪かった点、今後改善に向けたご要望)

- 早めに実施の有無、内容、時間等を周知して欲しい(5人)
- ディスカッションする時間を多く確保して欲しい(4人)
- 自己紹介や名刺交換の時間が多くあると良かった(2人)
- 前泊できないルールがあるため参加が難しかった(1人)
- 「自主研修」という名目では参加しづらい。カリキュラムに含めて欲しい(1人)

## ● 聞きたい、実施して欲しい内容など

- 被災経験職員による災害対応経験談
- オペレーションルームの見学ツアー
- 組織別(国、県、市町村等)の意見交換

<被災者支援コース>

- ボランティアやNPO、被災者側のお話

※追加の自由回答意見なし

# ■ 全体交流についてのアンケート結果

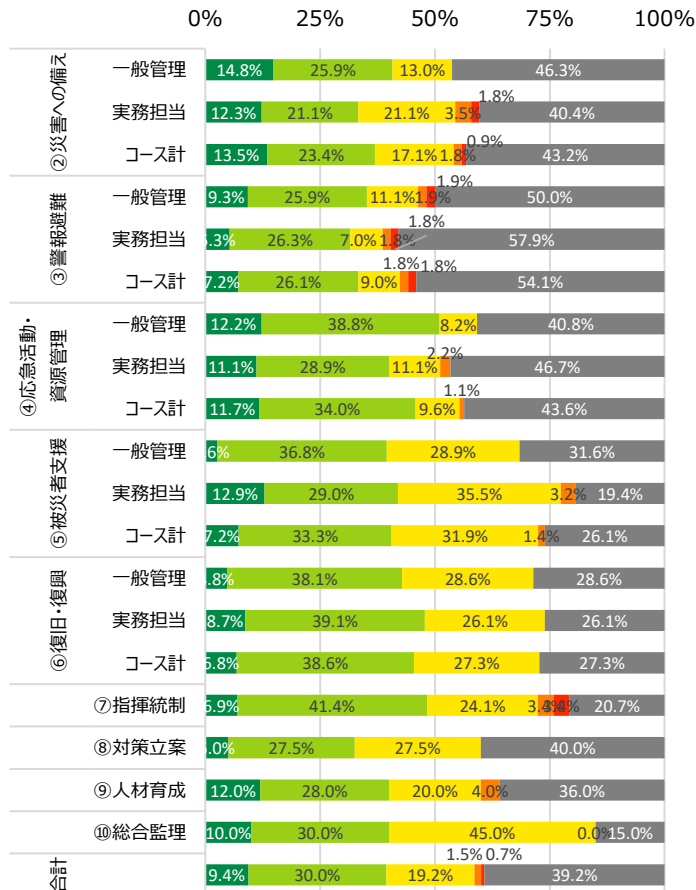
数値更新、組織運営の集計追加

2023.11.29集計時点

中間報告以降の追加・更新箇所は赤字

## Q 演習（対面）当日の「全体交流（お昼休みの交流）」の時間は、満足できる内容でしたか？

➔ 結果：組織運営4コースの集計結果を新たに追加したが、中間報告時とほぼ同じ傾向であり、交流の時間が認知されていなかったと思われる（不参加：39.2%）。



## ● 受講者意見(自由回答記述より抜粋)

(悪かった点、今後改善に向けたご要望)

- 食堂で交流できる時間、スペースを確保してはどうか
- 全体交流の開始の5分程度でよいので、隣同士での名刺交換・挨拶の時間を設けてはどうか
- 周囲にいた参加者は、情報交換や今後の関係性を構築するために集まった方々とは言いにくい状況で交流できなかった。
- 各自で建物外に出られる方も多く、食事はバラバラでされている方が多かったのは残念だった。
- コロナ禍を経験していることから、昼休憩は黙食を心掛ける癖がついており、当日も積極的な交流を持つことにためらいがあった。

■ 非常にそう思う   
 ■ そう思う   
 ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない   
 ■ そう思わない   
 ■ 参加していない



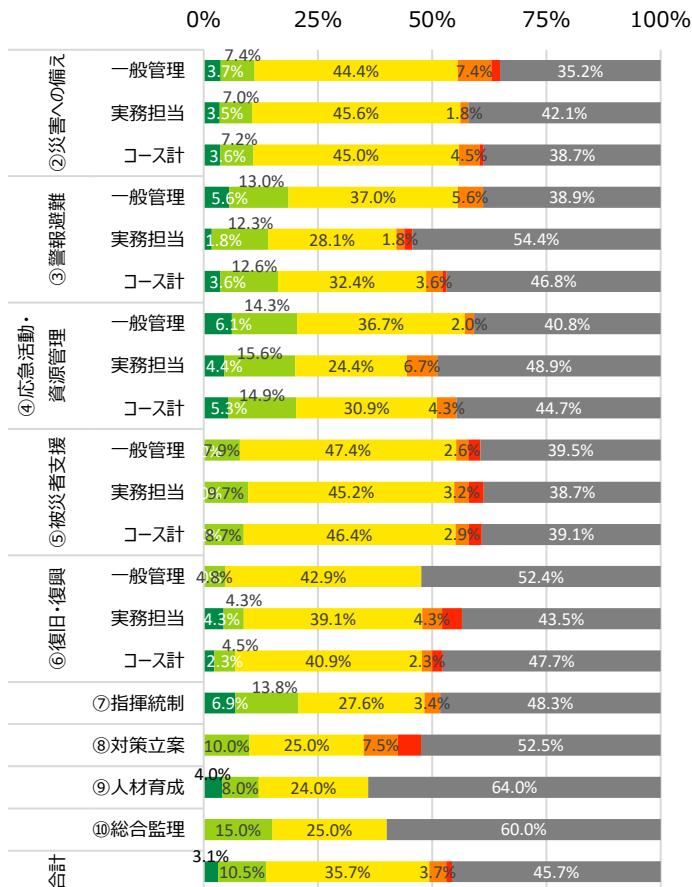
# ■ オンライン掲示板についてのアンケート結果

数値更新、組織運営の集計追加

2023.11.29集計時点  
中間報告以降の追加・更新箇所は赤字

## Q 「オンライン掲示板」による交流は、満足できる内容でしたか？

➔ 結果：組織運営4コースの集計結果を新たに追加したが、中間報告時とほぼ同じ傾向であり、多くの受講生に認知、利用されていなかったと思われる（不参加：45.7%）。



## ● 受講者意見(自由回答記述より抜粋)

### <共通>

- 利用者が少なかった(10人→14人)
- 早めに周知、利用できるようにして欲しい(5人)
- 掲示板の種類が多すぎる(5人)
- 研修後にも普段から利用できる掲示板として残して欲しい(1人)
- 使い方が不明瞭だった(1人)

■ 非常にそう思う ■ そう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 参加していない



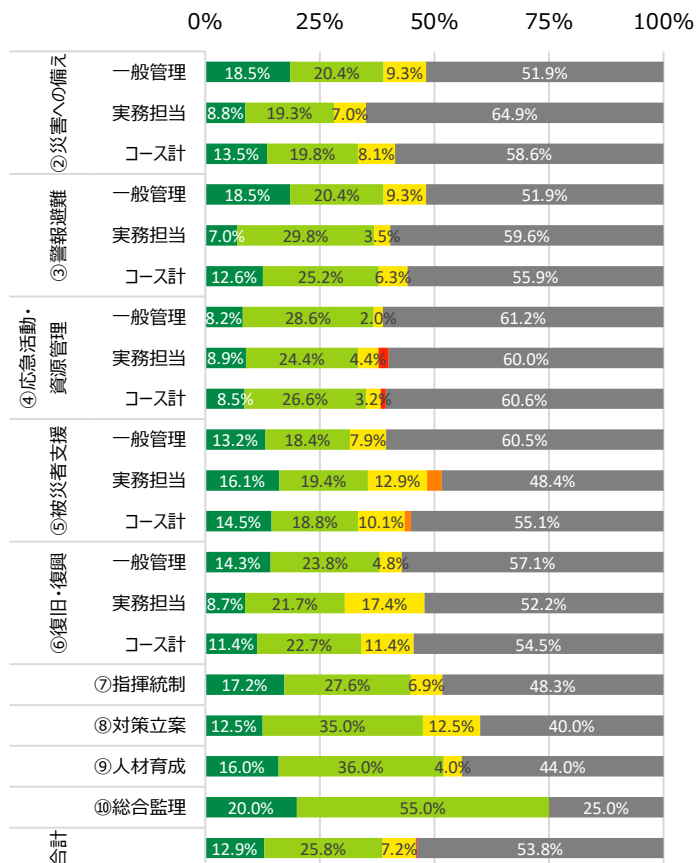
# ■ 自由交流会についてのアンケート結果

数値更新、組織運営の集計追加

2023.11.29集計時点  
中間報告以降の追加・更新箇所は赤字

## Q 演習（対面）当日の「自由交流（研修後の交流）」の時間は、満足できる内容でしたか？

➔ 結果：組織運営4コースの集計結果を新たに加えたが、中間報告時とほぼ同じ傾向であり、半数以上の受講者は自由交流に参加していない。参加できた受講生（「参加していない」以外を選んだ回答）は概ね好評だった。



## ● 受講者意見(自由回答記述より抜粋)

### <共通>

- ・ 会場が狭かった。
- ・ 組織別(国、県、市町村)に分けた交流もしたかった。
- ・ 参加者に県職員の参加がなかったことが残念だった。
- ・ 出張期間等の制約もあり参加したくとも参加できなかった。
- ・ 可能ならば以前のように2日間の集合研修で1日目終了後に実施するのが望ましい。

■ 非常にそう思う ■ そう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 参加していない

# 2. 令和5年度有明の丘研修（第2期）の実施

## ●開催スケジュール

| 12月                   |    |    |    |    | 1月                             |   |    |    |    |    |    | 2月 |    |    |    |    |    |    |    |      |   |   |   |   |   | 3月 |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|-----------------------|----|----|----|----|--------------------------------|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|---|---|---|---|---|----|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 27                    | 28 | 29 | 30 | 31 | 1                              | 2 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31   | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6  | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 水                     | 木  | 金  | 土  | 日  | 月                              | 火 | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水    | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火  | 水 | 木 | 金 | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金 | 土 | 日 |   |   |   |   |
| ① 防災基礎 オンデマンド講義 (LMS) |    |    |    |    | ※ 通年受講可 (令和6年3月4日まで)           |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ⑥ 復旧・復興(実務担当) オンデマンド講義(LMS)    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ⑥ 復旧・復興(一般管理) オンデマンド講義(LMS)    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ⑤ 被災者支援(実務担当) オンデマンド講義(LMS)    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ⑤ 被災者支援(一般管理) オンデマンド講義(LMS)    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ② 災害への備え(実務担当) オンデマンド講義(LMS)   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ② 災害への備え(一般管理) オンデマンド講義(LMS)   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ③ 警報避難(実務担当) オンデマンド講義(LMS)     |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ③ 警報避難(一般管理) オンデマンド講義(LMS)     |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ④ 応急活動・資源管理(実務担当) オンデマンド講(LMS) |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ④ 応急活動・資源管理(一般管理) オンデマンド講(LMS) |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ⑨ 人材育成(上級管理) オンデマンド講義(LMS)     |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ⑧ 対策立案(上級管理) オンデマンド講義(LMS)     |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ⑦ 指揮統制(上級管理) オンデマンド講義(LMS)     |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |
|                       |    |    |    |    | ⑩ 総合監理(上級管理) オンデマンド講義(LMS)     |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 演習 | 復習期間 |   |   |   |   |   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |

<職位別の凡例>

- 上級管理向け
- 一般管理向け
- 実務担当向け

- 防災基礎は12月27日にLMS開始
- 防災基礎コース以外の9コースは1月22日から順次LMS開始
- 職位別（実務担当向け／一般管理向け）の演習も午前午後に分けるなどして1日で実施
- パッケージ受講者向けに可能な限り開催日を連日に設定

# カリキュラム

講義・ワーク オンデマンド(講義動画を視聴/個人で作業)  
対面演習 有明の丘基幹的広域防災拠点施設にて集合演習

※複数のコースへの応募が可能です。  
※研修カリキュラムは変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
※講義・ワークは各コースともに合計時間は約8時間です。演習は1~3単元を予定しています。

### ①「防災基礎」

コースコーディネーター  
◆ 牛山 素行(静岡大学) ◆

必修

- 1 概論**  
防災・危機管理の基本的な考え方や、我が国の自然特性、近年の災害事例について学ぶ。
- 2 風水害**  
風水害発生のメカニズムと、風水害災害による被害の概要について学ぶ。
- 3 地域の脆弱性と被害の実態**  
自然災害による人的被害の実態を理解し、地域ごとの災害特性やハザードマップの読み方、風水害、地震のハード対策を学ぶ。
- 4 災害法体系・防災計画・災害への備え**  
防災活動全体の流れや災害関連法の体系、防災関連計画、政府の初期対応、防災人材育成、地区防災計画、個別避難計画等の概要について学ぶ。
- 5 災害から命を守る**  
「災害から命を守る」ための基本的な知識として、防災気象情報の概要や、避難情報の意味と内容について学ぶ。
- 6 被災者の応急救助**  
災害救助法の概要を理解し、被災者のいのちを守るために行う活動の概要や事前に備えておくべきことを学ぶ。
- 7 災害から暮らしを守る**  
避難所の開設・運営、災害廃棄物処理、被災認定調査、災害ケースマネジメント等、行政が行う手続きの基本を学ぶ。
- 8 災害時の応援・受援体制**  
災害時に行う応援受援に係る制度、受援体制の構築および受援計画の作成、応急対策職員派遣制度等の概要について学ぶ。
- 9 災害から回復する**  
被災者生活再建支援制度、災害弔慰金・災害援護資金、激甚災害制度、大規模災害からの復旧・復興、インフラ復旧の基本を学ぶ。
- 10 多様な視点からの災害対応**  
地域の多様な主体が避難所運営に係ることの意義や、災害時における男女共同参画の必要性等について学ぶ。

### ②「災害への備え」

コースコーディネーター  
◆ 丸谷 浩明(東北大学) ◆

- 1 「災害への備え」総論**  
自助・共助・公助による災害への備えの基本的な考え方や対策を学ぶ。
- 2 地域防災計画・地区防災計画**  
地域防災計画、地区防災計画と、どのように災害への備えに向けて活用するのかを学ぶ。
- 3 防災教育・災害教訓の伝承**  
地域に根差した防災活動を進めるための防災教育および災害教訓の伝承について学ぶ。
- 4 企業防災**  
企業が災害時に果たすべき役割を認識し、企業と行政が連携した防災活動について学ぶ。
- 5 行政のBCP、BCM**  
行政におけるBCP、BCMの意味と策定のポイントについて学ぶ。
- 6 住民啓発**  
住民向けの防災の啓発の基本的な事項および具体例について学ぶ。
- 7 地域の自主的な防災活動**  
住民の自主防災組織の意義、役割と行政による推進策について学ぶ。
- 8 災害ボランティア**  
災害ボランティアの意義、役割と行政との連携について学ぶ。
- 9 「災害への備え」ワークショップ**  
【実務担当】災害への備えの推進方策を災害対応組織の班員として議論し、自らの組織での具体的な行動への反映を考える。  
【一般管理】災害への備えの推進方策を災害対応組織の班員などのレベルで議論し、対応組織の管理業務への反映を考える。

### ③「警報避難」

コースコーディネーター  
◆ 井ノ口 宗成(富山大学) ◆

- 1 警報避難総論**  
警報避難対策の基本的な考え方と事前対策を学ぶ。
- 2 警報等の種類と内容**  
警報等の種類と内容、伝達について学ぶ。
- 3 避難情報の発令判断・伝達等**  
避難情報の判断と伝達方法について学ぶ。
- 4 土砂災害における警報と避難**  
土砂災害における警報と避難の実務について学ぶ。
- 5 風水害における警報と避難**  
風水害における警報と避難の実務について学ぶ。
- 6 南海トラフ地震臨時情報**  
地震災害の警報と避難について学ぶ。
- 7 個別避難行動の支援と計画**  
円滑かつ迅速な避難を実現するための個別避難計画の役割と避難行動支援の考え方を学ぶ。
- 8 【実務担当】**風水害を対象として避難判断を支える警報情報や各種情報の処理の流れを演習形式で学ぶ。  
【一般管理】風水害を対象として警報情報の活用と避難にかかる意思決定の流れを演習形式で学ぶ。

### ④「応急活動・資源管理」

コースコーディネーター  
◆ 松永 正大(元 全国物流ネットワーク協会) ◆

- 1 応急活動・資源管理総論**  
応急活動の流れと資源管理に関する基本的な考え方について学ぶ。
- 2 初動対応における国との連携**  
国における初動対応の内容とそとの連携のあり方について学ぶ。
- 3 地方公共団体間の相互応援と受援体制**  
災害時の行政機関の間で行われる応援受援の仕組みと受援体制について学ぶ。
- 4 災害廃棄物処理**  
被災地における資源確保の例として、災害廃棄物の撤去・処理の進め方と留意点を事例に基づき学ぶ。
- 5 救援物資の調達・救援物資の輸送**  
救援物資の調達に関する実務と課題、また、救援物資の輸送に関する実務と課題を学ぶ。
- 6 活動拠点・環境の体制**  
応急活動を行うために必要となる活動拠点や通信サービス等の確保について学ぶ。
- 7 救援物資ロジスティクス演習(ワーク)**  
救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを学ぶ。
- 8 【実務担当】**救援物資ロジスティクス演習/全体討論  
救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを学ぶ。
- 9 【一般管理】**資源管理演習  
災害対策本部における資源(人的、物的、空間、サービス)の確保、管理における留意点などを演習形式で学ぶ。

### ⑤「被災者支援」

コースコーディネーター  
◆ 田村 圭子(新潟大学) ◆

- 1 被災者支援総論**  
被災者支援の実態と被災者支援の全体像を学ぶ。
- 2 被災者生活再建支援法**  
被災者支援における災害救助法と生活再建支援法の位置づけや、手続き、適用事例を学ぶ。
- 3 避難所のライフサイクル**  
避難所のライフサイクルを学ぶ。
- 4 避難所運営の実務**  
避難所のライフサイクルを学ぶ。
- 5 要配慮者をはじめとする被災者支援**  
災害時要配慮者を始めとする避難生活への支援対策を学ぶ。
- 6 医療による被災者支援**  
医療チームの活動と医療支援のサイクルなど医療による被災者支援を学ぶ。
- 7 多様な主体による被災者支援**  
被災者支援の個別課題を学ぶ。
- 8 生活再建支援業務**  
家屋の被災認定から罹災証明の発行と罹災証明を基にした一連の生活再建支援業務を学ぶ。
- 9 個別避難計画の作成**  
令和3年3月の災害対策基本法において、市町村が作成が努力義務化された個別避難計画作成のステップとその機能を学ぶ。
- 10 【実務担当】**災害時のトイレ問題/全体討論  
避難所のライフサイクルを演習形式で体験し、避難所運営業務の実務を学ぶ。  
【一般管理】避難所の運営業務/全体討論  
避難所のライフサイクルを演習形式で体験し、避難所運営業務の管理運営を学ぶ。

### ⑥「復旧・復興」

コースコーディネーター  
◆ 加藤 孝明(東京大学) ◆

- 1 復旧・復興総論**  
災害からの復旧・復興の概念、行政・被災者等の取り組みから、生活、産業、社会、市街地の復興プロセスとその全体像について学ぶ。
- 2 公共基礎の復旧(基礎復興Ⅰ)**  
被災した公共基礎の復旧・再建の理念とその支援制度、対応業務の進め方について、事例を踏まえて学ぶ。
- 3 仮設住宅(生活復興Ⅰ)**  
災害救助法による仮設住宅の提供の仕組みを、事例に基づき学ぶ。
- 4 コミュニティ再生(社会復興)**  
地域社会の再生(つながり・コミュニティの継続と活性化)について事例を通して学ぶ。
- 5 市街地の復興まちづくり(基礎復興Ⅱ)**  
土地区画整理事業など市街地の基盤を再整備する復興まちづくりの意義と課題を事例に基づき学ぶ。
- 6 住まいの再建(生活復興Ⅱ)**  
被災者個人の生活再生とその基盤となる被災者の住まいの再建について体系的に学ぶ。
- 7 地域産業の復興と雇用確保(産業復興)**  
地域社会の活力と被災者の雇用確保のための産業復興について事例に基づいて学ぶ。
- 8 復興まちづくりイメージトレーニング**  
【実務担当・一般管理】現行の体制・制度では対応できない課題を明確化し、被災後の復興期に対応できるような仕組みを準備。復興まちづくりに対応可能な人材を育成する。

### ⑦「指揮統制」

コースコーディネーター  
◆ 林 春男(京都大学) ◆

- 1 指揮統制総論**  
災害対策本部組織を統制していくための理論と基本構造を学ぶ。
- 2 指揮統制の世界標準**  
世界標準における危機対応組織の仕組みを学び、リーダーに求められる4つの役割について学ぶ。
- 3 指揮統制の現状**  
大規模災害を経験した3都府県が指揮統制の本質を語る。
- 4 日本社会に適した指揮統制のあり方**  
危機対応の世界標準に則して災害対策本部の統制のあり方を学ぶ。
- 5 リーダーシップのあり方**  
リーダーシップの考え方と指揮統制を行うための要求事項を学ぶ。
- 6 参謀にとつての災害対策本部運営**  
危機対応組織の参謀がどのようにトップを補佐しながら災害対策本部を運営していくのかについて学ぶ。
- 7 災害広報(記者会見演習)**  
災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、メディアを通して被災者等とどう向き合い、どう語るのかを演習を通じて学ぶ。
- 8 全体討論**  
防災カアップのため、指揮統制について学んだことを、受講者のそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考える。

### ⑧「対策立案」

コースコーディネーター  
◆ 林 春男(京都大学) ◆

- 1 対策立案総論**  
災害対応における対策立案の考え方と情報統括、活動サイクル、体制を学ぶ。
- 2 指揮統制の世界標準**  
世界標準における危機対応組織の仕組みを学び、リーダーに求められる4つの役割について学ぶ。
- 3 災害対策本部が行う対策立案プロセス**  
「[国の対応計画(インシデント・アクション・プラン)]の果たすべき役割と基本的な構造、立案のプロセスについて学ぶ。
- 4 地図による状況認識の統一とISUTの試み**  
GISによる統合された情報提供の必要性とISUTの有効性について学ぶ。
- 5 応急期の政府支援**  
発災直後における各都府県から提供される具体的な支援の内容について学ぶ。
- 6 効果的な災害対応計画マニュアルの作成方法**  
災害対応計画の果たすべき役割と基本的な構造、災害対応マニュアルの作成について、災害対応の事例を基に学ぶ。
- 7 災害対策本部運営演習**  
災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を検討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会議において対策を決定する手法を演習を通して学ぶ。
- 8 全体討論**  
災害対策マネジメントにおける計画立案について学んだことを、災害対策本部運営にどのように反映させるのかを考える。

### ⑨「人材育成」

コースコーディネーター  
◆ 黒田 洋司(消防防災科学センター) ◆

- 1 人材育成総論**  
人材育成の必要性や戦略・法律・計画を学ぶ。
- 2 訓練・研修の実態**  
国や地方公共団体等が実際に実施している訓練や研修の実例を学ぶ。
- 3 訓練・研修企画手法**  
防災訓練・研修を企画する際のポイントを学ぶ。
- 4 訓練企画運営実践Ⅰ(状況付与型図上演習)**  
訓練手法のうち状況付与型図上演習の一つである、災害対策本部運営訓練を経験すると共に、様々なシナリオを用いた状況付与型図上演習の考え方を学ぶ。
- 5 地域防災リーダーの育成**  
地域における防災リーダーの育成の意義と研修の企画、実施手法を学ぶ。
- 6 訓練企画運営実践Ⅱ(討議型図上演習)**  
訓練手法のうち討議型図上演習の一つである災害工S/3Dフォーミュラ演習を体験すると共に、様々な素材を用いた討議型図上演習の考え方を学ぶ。
- 7 人材育成プログラム作成演習**  
人材育成プログラムの作成手法や留意点について学ぶ。
- 8 人材育成に関する情報交換会**  
受講生同士が講師陣と共に情報交換しながら交流を図る。

### ⑩「総合監理」

コースコーディネーター  
◆ 岩田 孝仁(静岡大学) ◆

- 1 総合防災政策**  
総合的に防災政策を推進していくことの基本的な考え方を予防対策から応急対策への流れに沿って学ぶ。
- 2 総合的な被害抑止施策の実施**  
水害や土砂災害、地震などの被害を抑止するための総合的な対策について学ぶ。
- 3 リスク評価に基づく災害対応の検証**  
防災アクションプランのサイクルについて学ぶ。
- 4 応急対策の実態**  
災害対策本部における重要業務と応急活動の実態について学ぶ。
- 5 大規模災害の検証と対応**  
大規模災害がどのように検証され、どのような対応方針が示されているのかを学び、今後の災害への反映を考える。
- 6 災害対策本部体制**  
災害対策本部体制を構築するために必要な体制、空間レイアウトなど事前に準備すべきことを学び、災害対策本部運営の流れと心構えを学ぶ。
- 7 全体討論**  
総合防災政策立案について学んだことを、受講者がそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考える。

# ●第2期の応募状況

・募集期間は12月4日～18日まで

12月4日～11日集計時点

| コース名   |            |      | 第2期 申込状況    |           |                 | 第1期 申込状況    |           |                 |
|--------|------------|------|-------------|-----------|-----------------|-------------|-----------|-----------------|
|        |            |      | 応募者数<br>(a) | 定員<br>(b) | 倍率<br>(a) / (b) | 応募者数<br>(a) | 定員<br>(b) | 倍率<br>(a) / (b) |
| 防災基礎   |            |      | 67          | —         | —               | 789         | —         | —               |
| 災害対策   | ②災害への備え    | 実務担当 | 17          | 60        | 0.28倍           | 67          | 60        | 1.12倍           |
|        |            | 一般管理 | 18          | 60        | 0.30倍           | 71          | 60        | 1.18倍           |
|        | ③警報避難      | 実務担当 | 9           | 60        | 0.15倍           | 59          | 60        | 0.98倍           |
|        |            | 一般管理 | 8           | 60        | 0.13倍           | 61          | 60        | 1.02倍           |
|        | ④応急活動・資源管理 | 実務担当 | 13          | 60        | 0.22倍           | 49          | 60        | 0.82倍           |
|        |            | 一般管理 | 11          | 60        | 0.18倍           | 58          | 60        | 0.97倍           |
|        | ⑤被災者支援     | 実務担当 | 11          | 60        | 0.18倍           | 33          | 60        | 0.55倍           |
|        |            | 一般管理 | 15          | 60        | 0.25倍           | 44          | 60        | 0.73倍           |
|        | ⑥復旧・復興     | 実務担当 | 6           | 60        | 0.10倍           | 26          | 60        | 0.43倍           |
|        |            | 一般管理 | 9           | 60        | 0.15倍           | 26          | 60        | 0.43倍           |
| 組織運営   | ⑦指揮統制      | 上級管理 | 11          | 60        | 0.18倍           | 34          | 60        | 0.57倍           |
|        | ⑧対策立案      | 上級管理 | 16          | 60        | 0.27倍           | 47          | 60        | 0.78倍           |
|        | ⑨人材育成      | 上級管理 | 11          | 60        | 0.18倍           | 29          | 60        | 0.48倍           |
|        | ⑩総合監理      | 上級管理 | 10          | 60        | 0.17倍           | 23          | 60        | 0.38倍           |
| ②～⑩の合計 |            |      | 165         | 840       | 0.20倍           | 627         | 840       | 0.75倍           |

## ● 応募における 第2期の改善点

第2期の募集にあたり、募集要項及びパンフレットを中心に見直しを図った。

### □ 第1期の職位別演習の内容を募集要項、ホームページに掲載

- ・ 第1期で実施した職位別演習スケジュール・内容の一例を募集要項に、実施した全コースのスケジュール・取り組みをホームページに掲載した。
- ・ 写真などを掲載して研修の様子が分かるようにした。

### □ パッケージ受講に関する記述の見直し

- ・ パッケージ受講のメリット（優先受講可能であること）を強調して、募集要項に掲載した。
- ・ 「地域防災マネージャー」に関する補足説明を募集要項に掲載した。

### □ 人的交流に関する取組みの掲載

- ・ 人的交流に関する取組である、自主研修、全体交流等の内容の一例を募集要項に掲載した。

### □ 関係省庁と連携した周知

- ・ 関係省庁と連携し、第2期では、国土交通省、厚生労働省、環境省から、都道府県・市区町村担当部局あての周知を実施した。

国交省：災害復旧事業部局、厚労省：保健医療福祉部局、環境省：廃棄物部局



# 【参考】 職位別座学内容の募集要項及びホームページの掲載状況

◆ R5年度第1期の演習スケジュールの例(災害への備えコース: R5.10/10(火)9:30~17:30)  
 ≪当日のスケジュール≫※R5第1期は「②、③、④コースのみ自主研修を実施」

| 時間     | 実務担当                           | 一般管理                                 |
|--------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 9:30~  | 【演習】<br>・オリエンテーション<br>・ワークショップ | 【自主研修】<br>・大手コンビニエンスストア<br>・事業者による講義 |
| 12:15~ | 昼休憩                            |                                      |
| 13:15~ | 全体交流(賞賛心咨)                     |                                      |
| 14:15~ | 休憩                             |                                      |
| 14:25~ | 【自主研修】                         | 【演習】                                 |
| 17:30  | 終了                             |                                      |

≪研修の様子≫

**実務担当**  
 災害への備えの対策を議論した。実務担当で議論する対策は、「有効そう」「面白そう」なアイデアを中心に議論した。  
**【一般管理】**  
 内容は同上。一般管理で議論する対策は、組織化、組織連携など災害対策を強化するための対策を中心に、単なる取組みだけでなく、みんなを

**演習**  


**【内容】**  
 ・事前にオンラインで質問を募集し、講師から回答を行い、参加者と議論を行った。  
 (実務担当、一般管理合同で実施)

**自主研修**  
  
**【内容】**  
 ・大手コンビニエンスストア事業者から防災に取組みの企業がその話題を踏まえて意見交換を行った。

募集要項の掲載状況

## 防災スペシャリスト養成研修

ホーム 事業概要 研修のご案内 受講申込 お問い合わせ

ホーム > 研修のご案内 > 【有明の丘 第1期】 > 非公開: 令和5年度 有明の丘研修 (第1期) 演習等の実施状況

**令和5年度 有明の丘 第2期**

### 令和5年度 有明の丘研修 (第1期) 演習等の実施状況

令和5年度 有明の丘研修 (第1期) で実施した演習等の実施状況は以下のとおりです。

**応急活動・資源管理コース**

第1期のスケジュール

| 時間目安   | 実務担当                         | 一般管理                         |
|--------|------------------------------|------------------------------|
| 09:15~ | 演習: 救援物資ロジスティクス演習            | 自主研修: 「物資調達・輸送調整等支援システム」の相談会 |
| 12:30~ | 昼休憩/全体交流(名刺交換の促し)            |                              |
| 13:15~ | 自主研修: 「物資調達・輸送調整等支援システム」の相談会 | 演習: 資源管理演習                   |
| 17:30  | 終了                           |                              |

**実施内容**

| 種別     | 演習名・概要  | 職位ごとの内容                                     |
|--------|---|---|
| 演習(実務) | 救援物資ロジスティクス演習<br>救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを学ぶ。   | 災害時における救援物資のロジスティクスをロールプレイング形式で体験する演習を実施した。 |
| 演習(一般) | 資源管理演習<br>災害対策本部における資源(人的、物的、空間、サービスの確保、管理における留意点などを演習形式で学ぶ。                                | 災害時における人的応援の調整をロールプレイング形式で体験する演習を実施した。      |
| 自主研修   | 「物資調達・輸送調整等支援システム」の相談会<br>内閣府デジタル・物資支援担当者が「物資調達・輸送調整等支援システム」の操作説明等を行うとともに、システムに関する相談を受け付けた。 |   |
| 全体交流   | 質疑応答<br>事前にオンラインで質問を募集し、講師から回答を行い、参加者と議論を行った。   |   |

演習の様子



ホームページの掲載状況

# 3. 防災基礎コースのリニューアル

## 1) リニューアルの経緯

R3年度

### 《背景と課題》

- 受講希望者が非常に多く（定員60名に対し倍率5倍程度）、災害対策の基礎を学ぶコースにもかかわらず、**受講ニーズに対して十分な学習機会を提供できていなかった。**
- R2からコロナ禍を経て研修のオンライン化が図られており、**オンデマンド講義は受講者の拡大に非常に有効**であることが明らかとなっていた。

### 《リニューアルの方針の確立》

- **講義の視聴から修了までを完全オンデマンド化**し、全受講者に視聴してもらうことを推奨することとし、R5の実装に向けてR4に検討を進める。

R4年度

### 《基本ルールの検討》

- 防災基礎の完全オンデマンド化に向けて、必要となる基本のルールを検討
  - 視聴可能期間
  - 能力評価(多肢選択テスト)と修了認定
  - コース作成ルール
  - 単元構成(カリキュラム)

R5年度

### 《完全オンデマンド化した防災基礎の提供開始》

- R4の検討内容を踏まえ、R5からの提供に向けて以下を検討
  - カリキュラムの確定
  - 募集のルール
  - 多肢選択テストの作成ルール
- 受講者募集を行い、8月より講義動画の提供を開始した。



## ●令和5年度の募集

### □令和5年度第1期の募集について

- ・ 防災基礎コースの完全オンデマンド化に伴い、定員を120名→600名と拡大し、通年受講可とした上で、他コース受講にあたり防災基礎コースを必修化。
- ・ 令和5年度のみ移行期間として他コースとの同時受講可とした。

### □令和5年度第2期の募集について

- ・ 第1期の時点で当初予定していた年間の定員数を超過したため、第2期の募集は、**防災基礎コースのみの単独申込は対象外とし、他コースとの同時受講者のみ受講可。**

## ●今後の取組み

### □令和6年度の募集について

- ・ 令和6年度以降は、他コースの受講に防災基礎コースの修了を条件とするが、上記事情に鑑み、令和6年度も**引き続き移行期間として防災基礎コースとの同時受講を可能とする。**

## 【参考：これまでの検討事項①】

### ●募集（R5 第1回企画検討会）

- ・定員を拡大する（120人/年→600人/年）
  - ・第1・2期の受講者ともに通年度受講可能とする
  - ・他の9コースの応募前に、防災基礎を修了していることを必須条件とする
- ※ただし、R5年度は移行措置として同時受講を可能とする
- ※同時受講の場合は他コースの演習開始までに防災基礎を修了することとする

### ●視聴可能期間（R4 第4回企画検討会）

- ・4～8月でシステムを構築し、9月研修開始に向けて講義動画を撮影する
- ・8月と12月の2回（有明の丘研修と同時期）、受講者の募集を行う
- ・R6年度以降も、講義動画の更新がある場合は9月までに行う

| R5年度       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月        | 9月        | 10月 | 11月       | 12月       | 1月        | 2月 | 3月        |
|------------|----|----|----|----|-----------|-----------|-----|-----------|-----------|-----------|----|-----------|
| 有明の丘       |    |    |    |    | 第一期<br>募集 | 第一期<br>演習 |     | 第一期<br>終了 | 第二期<br>募集 | 第一期<br>演習 |    | 第二期<br>終了 |
| システム<br>構築 | ■  |    |    |    |           | ■         | ■   | ■         | ■         | ■         | ■  | ■         |
| WG         |    |    | ■  |    |           |           |     |           |           |           |    |           |
| 動画撮影       |    |    |    | ■  |           |           |     |           |           |           |    |           |
| 受講者<br>募集  |    |    |    |    | ■         |           |     |           | ■         |           |    |           |
| 視聴期間       |    |    |    |    |           | ■         |     |           |           |           |    |           |

## 【参考：これまでの検討事項②】

### ●能力評価(多肢選択テスト)と修了認定 (R4 第3回企画検討会、R5 第1回企画検討会)

- 必修単元の講義を全て視聴すること
- 必修単元の確認テストを完答すること（初回の点数は問わない）
- 最終テストを完答すること（初回の点数は問わない）  
※最終テストは全問正解するまで繰り返し実施する
- 希望が無い場合は修了証を発行（郵送）しない

### ●多肢選択テストの作成ルール (R5 第1回企画検討会)

#### 設問文：

- 各区分に設定した学習目標に関連する問題を3問作成する
- 問題の内容は学習目標に関連したものを問う
- 講義で説明した内容の中から出題する

#### 回答選択肢：

- 回答選択肢は、①正しい文章を1つ、誤った文章を3つ作成し、正しい文章を選択させる出題形式、または②正しい文章を3つ、誤った文章を1つ作成し、誤った文章を選択させる出題形式を基本とする
- 選択肢の順序には意味を持たせない（ランダム順で出題する）

#### 解説文：

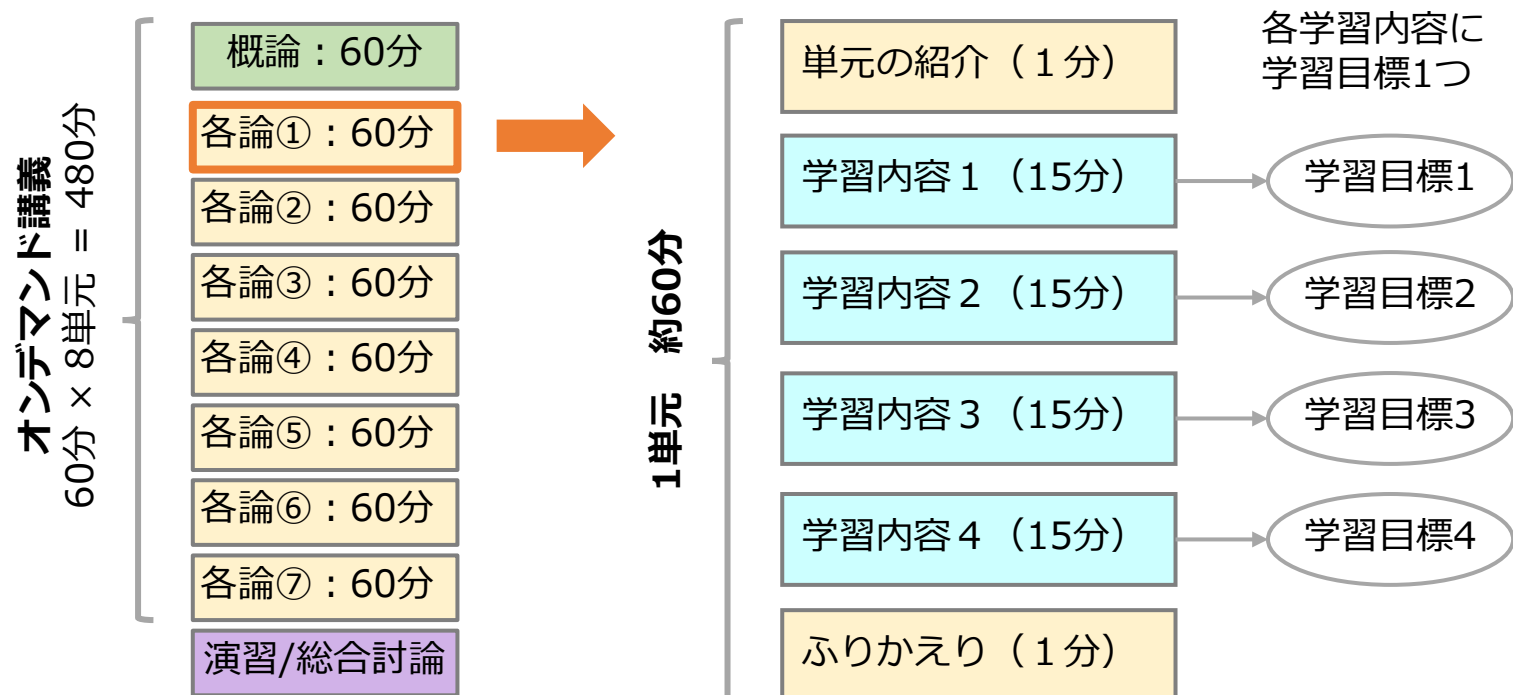
- 受講生が回答を入力した後、問題の正誤に関わらず、問題の詳細な解説文と講義テキストの該当箇所を表示する

# 【参考：これまでの検討事項③】

## ●コース作成ルール（R4 第3回企画検討会）

### ルール

- ・コース修了に係る視聴所要時間は**480分以内を原則**とする
- ・一単元の視聴所要時間は**60分以内を原則**とする
- ・一単元は視聴時間**約15分以内**の動画を組み合わせ作成する
- ・15分の動画ごとに**学習目標を1つ**設定する



# 【参考：これまでの検討事項④】

## ● 単元構成（カリキュラム）（R4 第4回企画検討会）

H26当初の考え方を踏まえて、単元構成（カリキュラム）を改めて検討した

|   |  |   |   |                                       |  |                               |       |                        |                  |                       |                           |               |                               |   |  |  |  |  |  |  |  |   |  |     |     |       |       |  |  |   |  |   |   |     |  |  |  |  |
|---|--|---|---|---------------------------------------|--|-------------------------------|-------|------------------------|------------------|-----------------------|---------------------------|---------------|-------------------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|---|--|-----|-----|-------|-------|--|--|---|--|---|---|-----|--|--|--|--|
| ⑧計画立案   | 1.計画立案   |   |   |                                       |  |                               |       |                        |                  |                       |                           |               |                               |   |  |  |  |  |  |  |  |   |  |     |     |       |       |  |  |   |  |   |   |     |  |  |  |  |
| ⑨広報   | 2.広報   |   |   |                                       |  |                               |       |                        |                  |                       |                           |               |                               |   |  |  |  |  |  |  |  |   |  |     |     |       |       |  |  |   |  |   |   |     |  |  |  |  |
| ⑩総合   | 1.計画立案 2.広報 3.活動調整 4.実行管理  |   |   |                                       |  |                               |       |                        |                  |                       |                           |               |                               |   |  |  |  |  |  |  |  |   |  |     |     |       |       |  |  |   |  |   |   |     |  |  |  |  |
| ②減災対策   | ③訓練企画  | ④警報・避難  | ⑤物資物流・広域行政  | ⑥避難収容・被災者支援                           | ⑦復旧復興・被災者生活再建  |                               |       |                        |                  |                       |                           |               |                               |   |  |  |  |  |  |  |  |   |  |     |     |       |       |  |  |   |  |   |   |     |  |  |  |  |
| 防災活動を行う上で不可欠な事項や情報<br>6.事故災害の予防<br>7.国民の防災活動の促進<br>9.事故災害における再発防止対策の実施<br>10.迅速かつ円滑な災害応急対策、災害復旧・復興への備え  | 防災活動を行う上で不可欠な事項や情報<br>7.国民の防災活動の促進<br>10.迅速かつ円滑な災害応急対策、災害復旧・復興への備え   | 防災活動を行う上で不可欠な事項や情報<br>11.災害発生直前の対策<br>13.災害の拡大・二次災害の防止及び応急復旧活動<br>16.避難収容及び情報提供活動 | 防災活動を行う上で不可欠な事項や情報<br>12.発災直後の情報の収集・連絡及び活動体制の確立<br>15.緊急輸送のための交通の確保・緊急輸送<br>17.物資の調達、供給活動<br>21.自発的支援の受入れ | 防災活動を行う上で不可欠な事項や情報<br>16.避難収容及び情報提供活動 | 防災活動を行う上で不可欠な事項や情報<br>22.地域の復旧・復興の基本方向の決定<br>23.迅速な原状復旧<br>24.計画的復興<br>25.被災者等の生活再建等の支援<br>26.被災中小企業の復興、その他経済復興の支援 | Step 3                        |       |                        |                  |                       |                           |               |                               |   |  |  |  |  |  |  |  |   |  |     |     |       |       |  |  |   |  |   |   |     |  |  |  |  |
| <table border="1"> <tr> <td>①防災基礎</td> <td>防災活動の概要<br/>6. 7. 9. 10</td> <td>防災活動の概要<br/>7. 10</td> <td>防災活動の概要<br/>11. 13. 16</td> <td>防災活動の概要<br/>12. 15. 17. 21</td> <td>防災活動の概要<br/>16</td> <td>防災活動の概要<br/>22. 23. 24. 25. 26</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="6">22の防災活動※全体に関する基礎的な知識<br/>・防災活動の流れ(応急、復旧復興、予防)<br/>・我が国の災害の現状<br/>・法的枠組みと対応の主体<br/>・災害対応の原則<br/>※「防災スペシャリスト」が実施する28の防災活動のうち、「個別課題への対応」に関するNo.5～26の防災活動</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・法律</td> <td>・計画</td> <td>・ハザード</td> <td>・災害事例</td> <td colspan="2"></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> <td>5</td> <td colspan="2">1・2</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </table> |  |   |   |                                       |  |                               | ①防災基礎 | 防災活動の概要<br>6. 7. 9. 10 | 防災活動の概要<br>7. 10 | 防災活動の概要<br>11. 13. 16 | 防災活動の概要<br>12. 15. 17. 21 | 防災活動の概要<br>16 | 防災活動の概要<br>22. 23. 24. 25. 26 | 7 |  | 22の防災活動※全体に関する基礎的な知識<br>・防災活動の流れ(応急、復旧復興、予防)<br>・我が国の災害の現状<br>・法的枠組みと対応の主体<br>・災害対応の原則<br>※「防災スペシャリスト」が実施する28の防災活動のうち、「個別課題への対応」に関するNo.5～26の防災活動 |  |  |  |  |  | 6 |  | ・法律 | ・計画 | ・ハザード | ・災害事例 |  |  | 3 |  | 4 | 5 | 1・2 |  |  |  |  |
| ①防災基礎   | 防災活動の概要<br>6. 7. 9. 10   | 防災活動の概要<br>7. 10  | 防災活動の概要<br>11. 13. 16   | 防災活動の概要<br>12. 15. 17. 21             | 防災活動の概要<br>16  | 防災活動の概要<br>22. 23. 24. 25. 26 | 7     |                        |                  |                       |                           |               |                               |   |  |  |  |  |  |  |  |   |  |     |     |       |       |  |  |   |  |   |   |     |  |  |  |  |
|   | 22の防災活動※全体に関する基礎的な知識<br>・防災活動の流れ(応急、復旧復興、予防)<br>・我が国の災害の現状<br>・法的枠組みと対応の主体<br>・災害対応の原則<br>※「防災スペシャリスト」が実施する28の防災活動のうち、「個別課題への対応」に関するNo.5～26の防災活動 |   |   |                                       |  |                               | 6     |                        |                  |                       |                           |               |                               |   |  |  |  |  |  |  |  |   |  |     |     |       |       |  |  |   |  |   |   |     |  |  |  |  |
|   | ・法律  | ・計画   | ・ハザード   | ・災害事例                                 |  |                               | 3     |                        |                  |                       |                           |               |                               |   |  |  |  |  |  |  |  |   |  |     |     |       |       |  |  |   |  |   |   |     |  |  |  |  |
|   | 4  | 5   | 1・2   |                                       |  |                               |       |                        |                  |                       |                           |               |                               |   |  |  |  |  |  |  |  |   |  |     |     |       |       |  |  |   |  |   |   |     |  |  |  |  |

### 単元構成見直し（事務局案）

- 概論**
  - ・コースの全体像
  - ・「前提となる知識」の要点
- 各論 1、2 ハザード**
  - ・災害とハザード
  - ・災害発生メカニズム
  - ・ハード対策、観測予測情報
- 各論 3 災害事例**
  - ・災害による被害の実態
  - ・地域の災害特性と災害事例
  - ・ハザードマップ
- 各論 4 法律**
  - ・災害法体系
- 各論 5 計画**
  - ・防災計画
- 各論 6, 7 防災活動の概要**
  - ・警報避難の概要
  - ・避難生活支援の概要
  - ・物資・情報の流通の概要
  - など

### 現在の防災基礎

1. 防災基礎総論
2. ハザードのメカニズムと実態（風水害／火山／地震）
3. 地域の脆弱性と被害の実態
4. 4-1 防災行政概要  
4-2 災害法体系  
4-3 防災計画
5. 災害対応力を強化する女性の視点

図1 「26の防災活動」と「身につけるべき能力」を踏まえた研修コース設定（H27年度更新版）

### （H26年度）防災基礎コースの設定

- ・26の防災活動と身につけるべき能力によりコースを設定
- ・前提となる知識を習得するコースとして**防災基礎**を設置（平成26年度検討会報告書より）

### 【コース設定の考え方】

防災基礎では「前提となる知識」としてハザード、災害事例、法律、計画の枠組みと、**防災活動の基礎知識**を習得する

## 2) 防災基礎コースの受講・修了状況

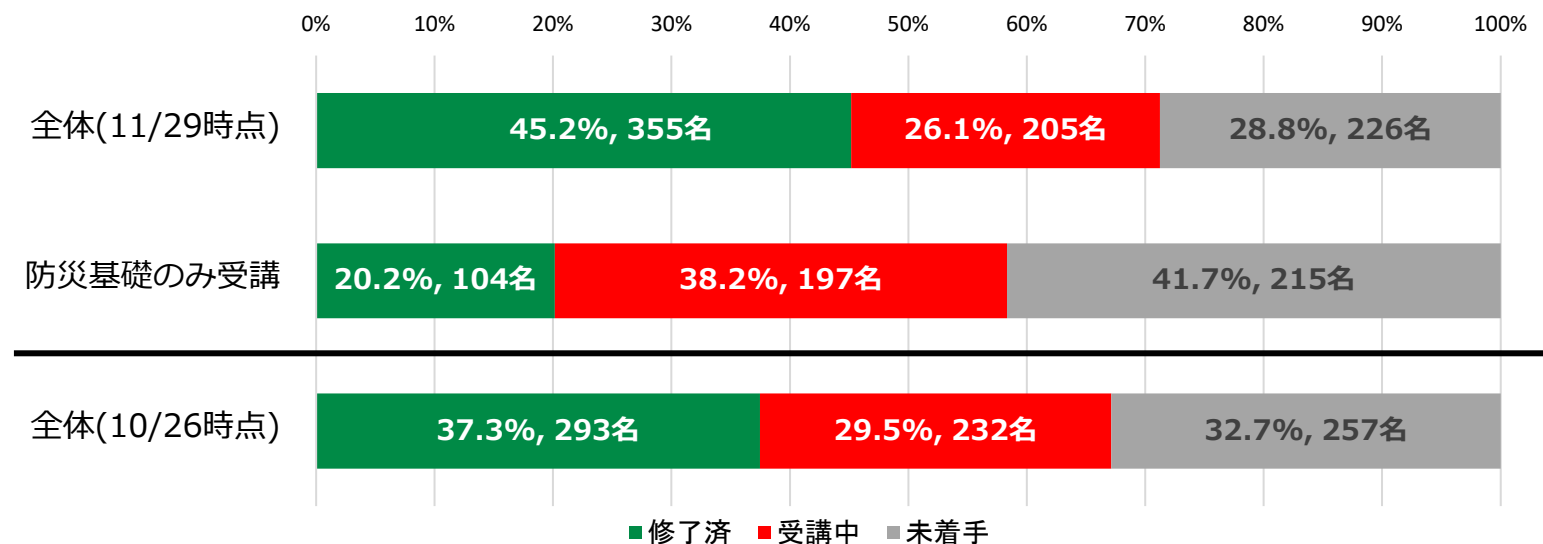
### ● 令和5年度第1期の受講状況

2023.11.29集計時点

| 受講定員   | R5 第1期受講の状況                   |
|--------|-------------------------------|
| 600名/年 | 786名（他コースとの同時受講270名、単独受講516名） |

#### 修了状況

- ・修了済の受講者が45.2%。
- ・「防災基礎のみ受講」は、受講期間を3月までとしているため、自己のスケジュールに合わせて受講を進めているものと考えられる。



### 3) 現状の課題と論点

#### 課題：当初予定（600人）よりも多い受講の申込者数

- 本年度の防災基礎コースは、これまでの実績を踏まえてR4までの5倍の定員数である600人を定員としたが、第1期時点で786人と超過している。

#### ➡論点：防災基礎コースの受講枠・期間（1年）は適正か

- 第2期は、防災基礎コースのみの単独申込は対象外とし、他コースとの同時申込者のみを対象とした。
- 今後、費用面の負担も考慮して受講枠・期間の検討が必要。

#### 課題：当初予定（480分）よりも多い講義時間（必須のみで608分）

- 当初は480分を目安に防災基礎コースのカリキュラムを設計した。
- 現時点で必須のみで受講時間が608分になっており、受講者の負担が大きい。

#### ➡論点：受講時間数、選択科目の見直し

- 受講生の負担等も踏まえて、カリキュラムの適正化を図る必要があるか。
- あわせて、引き続き、防災基礎コースの修了を他コース受講の条件とするか。（推奨とする案も考えられる）
- 今後どのような考え方で見直していくか、アンケート結果等も参考としつつ検討を行う。



## 4. 防災基礎コース以外のリニューアル

### 1) リニューアルの経緯

R2年度

#### 《背景》

- ・ オンラインの活用が新たな選択肢となったことを踏まえ、**「受講者の拡大を図る」「受講者ニーズに即した研修内容の強化」**を基本に研修のあり方を見直していく方針が打ち立てられる。
- ・ その中で、「職位に応じた推奨受講メニューの提供」が挙げられた

R3年度

#### 《職位別の推奨メニューの検討》

- ・ 有明の丘研修のあり方を見直すにあたりH25からの検討を踏まえて、①研修の受講者、②研修の手法、③構成、内容、④能力評価などを整理
- ・ **職位(一般職員、課長級、部長級)を基準とした推奨メニューの大枠**を整理

R4年度

#### 《R6リニューアルに向けて各種検討》

- ・ **職位の名称(実務担当、一般管理、上級管理)と定義**を検討した。
- ・ 防災基礎コースとあわせて**コース作成ルール**を検討した。
- ・ 一般管理が上級管理の内容を学ぶことのできる**「組織運営入門」**、上級管理が一般管理の内容を学ぶことができる**「災害対策横断」の考え方を提示**
- ・ 一括して職位別の内容を受講できる**「職位別パッケージ」**の考え方を提示

R5

#### 《職位別演習の提供開始、一部コースで職位別座学の試行》

- ・ 検討を踏まえて、**災害対策5コースにおいて職位別の演習を実施**した。
- ・ 被災者支援コースで座学の一部を職位別に分割し第2期で試行を予定。

# 【参考：これまでの検討事項①】

## ● 職位の区分と構成内容（R4検討を踏まえてR5に定義）

| 区分   | 区分の説明   | 災害時の役割の例                | 推奨コース |
|------|---|-------------------------|-------|
| 実務担当 | 災害対応（復旧・復興、被災者支援を含む）における各班の実務を担当する職員                                  | 災害対応組織の班員、関係部局からの支援要員、等 | ②～⑥   |
| 一般管理 | 災害対応（復旧・復興、被災者支援を含む）における各業務の指揮および活動調整（応援受援業務を含む）を担う、班長等の職員又は将来見込まれる職員 | 災害対応組織の班長、等             | ②～⑥   |
| 上級管理 | 災害対応の意思決定や全体指揮にあたる者及び補佐する職員   | 災害対策本部副本部長、危機管理監、本部員、等  | ⑦～⑩   |

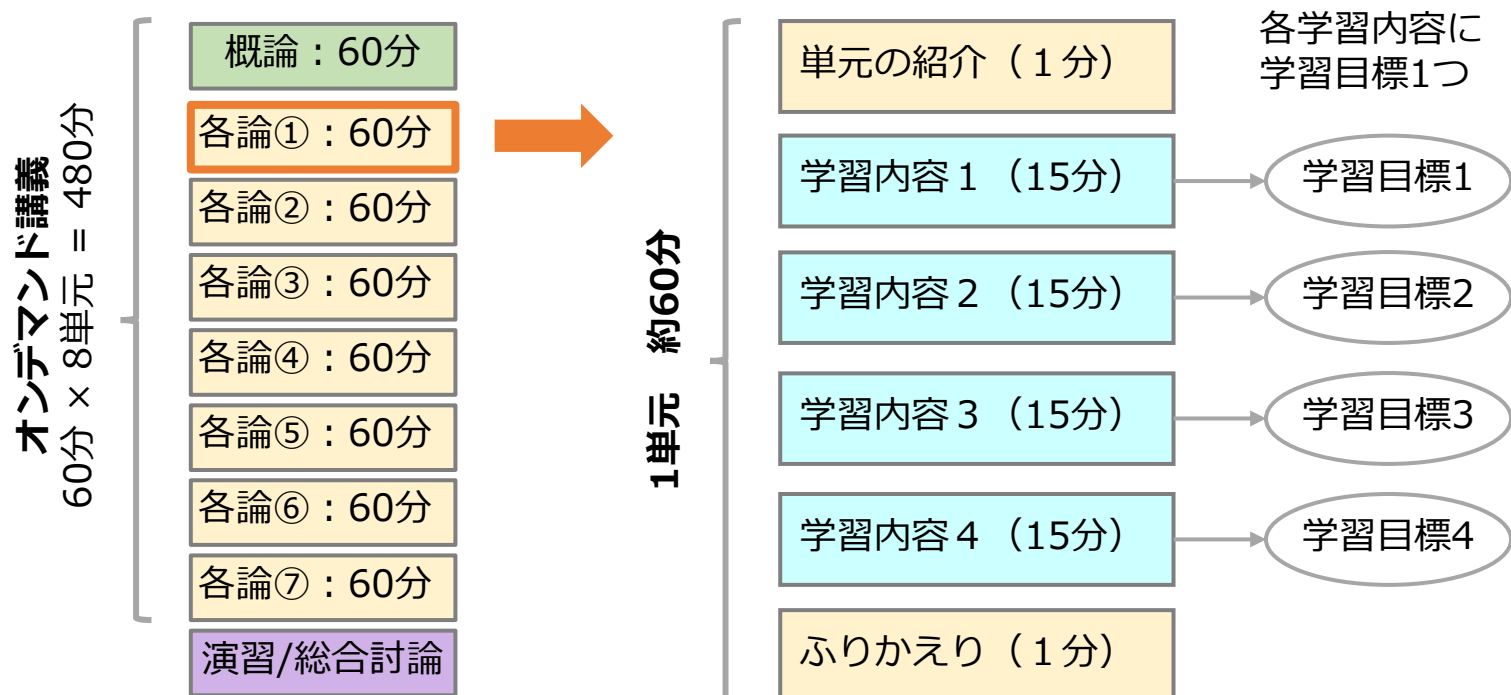
|   | 概論                               | 各論   | 演習  | 総合討論  |
|---|----------------------------------|--|---|---|
| <b>上級管理</b><br>災害対策本部運営：<br>組織のトップの懐刀として、防災業務を全般的に知り、調整できる      | 各コースの全体像と、災害対応業務を遂行するための要点を身に付ける | 災害対策本部運営(市区町村の危機管理監等のマネジメント業務)を遂行するために、必要な知識を身に付ける                 | 災害対策本部運営(市区町村の危機管理監等のマネジメント業務)の活動遂行能力を身に付ける                 | 災害対策本部運営(市区町村の危機管理監等のマネジメント業務)について、質疑応答と振り返りにより理解を深める                 |
| <b>一般管理</b><br>現場リーダー：<br>防災業務全般に関する基礎的な知識があり、一定範囲の業務の調整ができる    |                                  | 災害時の現場リーダーの業務(災害対策本部の班長、市区町村の課長等の現場でのマネジメント業務)を遂行するために、必要な知識を身に付ける | 災害時の現場リーダーの業務(災害対策本部の班長、市区町村の課長等の現場でのマネジメント業務)の活動遂行能力を身に付ける | 災害時の現場リーダーの業務(災害対策本部の班長、市区町村の課長等の現場でのマネジメント業務)について、質疑応答と振り返りにより理解を深める |
| <b>実務担当</b><br>実務担当：<br>予防、応急、復旧・復興の各段階における専門的な業務を、迅速かつ適切に実行できる |                                  | 実務担当の業務(市区町村の係長等の現場でのオペレーション)を遂行するために、必要な知識を身に付ける                  | 実務担当の業務(市区町村の係長等の現場でのオペレーション)を遂行するための活動遂行能力を身に付ける           | 実務担当の業務(市区町村の係長等の現場でのオペレーション)について、質疑応答と振り返りにより理解を深める                  |

## 【参考：これまでの検討事項②】

## ●コース作成ルール（R4 第3回企画検討会）

## ルール

- ・コース修了に係る視聴所要時間は**480分以内を原則**とする
- ・一単元の視聴所要時間は**60分以内を原則**とする
- ・一単元は視聴時間**約15分以内**の動画を組み合わせ作成する
- ・15分の動画ごとに**学習目標を1つ**設定する



## 【参考：これまでの検討事項③】

### ● 「組織運営入門」、「災害対策横断」（R4 第5回企画検討会）

#### 組織運営入門

（これまで頂いたご意見等）

職位別推奨メニューの検討において、災害対策本部の班長等にあたる「一般管理」は組織運営（マネジメント）4コース（指揮統制、対策立案、人材育成、総合監理）の基礎的な知識を学習する必要があるとの考えを示してきた。

#### ● 一般管理向けに、組織運営4コースの概論等講義の受講推奨

- 一般管理向けコースにおいて、**組織運営4コースの概論等を受講推奨**の講義として受講者に提示してはどうか

#### 災害対策横断

（これまで頂いたご意見等）

首長の参謀役となる「上級管理」は、災害対策（オペレーション）5コースの実務にも精通する必要があるとの考えを示してきた。第4回検討会までの議論では、各コースの概論を受講することとしていたが、概論は各コースの入門的な内容であり、上級管理向けの講義は新規に作る必要があるとの委員からのコメントがあった。

#### ● 上級管理向けに、災害対策5コースの横断的講義の必履修化

- 上級管理向けコースでは、**災害対策5コースにおける上級管理向けの単元（座学）を新規に作成し、受講必須**としてはどうか
- 災害対策5コースにおける上級管理向け単元では、組織や分野を横断する統合指揮（Unified Command）の視点から、講義を作成してはどうか
- 災害対策5コースにおける上級管理向け単元では、各コースの業務構造をWBS（Work Breakdown Structure Diagram）等から読み取る学習も行ってはどうか

## 2) リニューアルに向けて今後必要な取組み

- R5では職位別演習を先行的に実施した。
- R6は、「職位別座学の実施」が大きなリニューアル事項となる。次年度以降のリニューアルに向けて今後必要な取組みを整理した。

### ①「職位」を踏まえた座学の仕分けの考え方（案）の検討

- 災害対策5コースでは、実務担当向けと一般管理向けの職位に応じた座学と演習を実施する（令和5年度は職位別演習を先行的に実施）。
- 職位別のコース設計を検討するためには、**基本となる単元や内容の仕分けの考え方を検討**する必要がある。
- 現状のカリキュラムを踏まえて**コースで取り扱う業務内容を再整理しながら基本的な考え方の案を検討**してはどうか。

### ②コース作成ルールに基づいた新たなコンテンツの作成

- これまでの検討の中で、コース作成に関するルール案が検討されてきた。
- **より効果的に学習ができるよう、講義作成ルール（講義時間、単元構成等）に基づき、職位別座学のコンテンツを作成**する。

### ③研修カリキュラム及び研修指導要領の作成

- 上記の仕分けの考え方に基づき、リニューアル後の研修カリキュラム及び研修指導要領を作成する。

### 3) 今後の取組みの進め方（案）

前項の内容を踏まえ、今後の取組みの進め方を2案整理した。

#### A案：コース全体の研修カリキュラム、指導要領を確立してからリニューアルを進めるパターン

- 令和6年度を通して仕分けの考え方の検討を深め、コース全体の研修カリキュラム、指導要領等の確立を目指す。
- 令和7年度から全コースでコンテンツを作成する。

利点

コース全体のバランスを見ながらトップダウン思考で検討できる

欠点

試行の機会を設けられるタイミングが少なく、研修を通じたフィードバックを得にくい。

#### B案：一部コース・単元で試行をしながらリニューアルを進めるパターン

- 一部のコースや一部単元を対象に、まずは一定の仕分けの考え方に基づいてコンテンツを作成し、令和6年度の研修を通じて試行を行う。
- 研修で得られたフィードバックを踏まえて仕分けの考え方の改善を図り、それを踏まえてコース全体の研修カリキュラム、研修指導要領等を確立を目指す。
- 令和7年度から各コースで順次コンテンツを作成する。

※職位別に座学を分割することがなじまないコースは要検討

利点

一部の単元からフィードバックを得ながらボトムアップ思考で検討できる

欠点

試行を挟むため最終的なカリキュラム、指導要領の作成まで時間が掛かる  
業務の特性等が異なるため、一部のコースや単元の試行で十分か

**A案：カリキュラム等確立してリニューアル**

**B案：試行しながらリニューアル**

R5

仕分けの考え方（案）の検討

仕分けの考え方（案）の検討

R6

4月～9月

仕分けの考え方の深化

一部コース、単元でコンテンツ作成

10月～3月

研修カリキュラム、指導要領の確立

第1期の研修で試行

仕分けの考え方の再検討

研修カリキュラム、指導要領の確立

R7以降

R7年4月～9月

全コースでコンテンツ作成

各コースで順次コンテンツ作成

R7 第1期に全コースでリニューアル

R7以降に全コースでリニューアル



## ●各コースコーディネーターの御意見

令和6年度のコースリニューアルに向けて各コースコーディネーターに御意見を伺った。頂いた主な御意見は以下のとおり。

### コーディネーターからの御意見

- 各コースコーディネーターの考えている理想形のカリキュラムを15分区切りの単位で考えてはどうか※次ページを参照。それらを踏まえて実務担当、一般管理を位置づけるか企画検討会で検討してはどうか。
- まずは、実務担当が学ぶべき業務を整理してはどうか。それらを踏まえて、一般管理が学ぶべき内容は、それらの業務の統括や計画の立案ができるという部分に着目してはどうか。
- 一般管理の学ぶ内容には指揮統制や人材育成、総合調整のような内容も含めて考える必要があるのではないか。
- 応急活動・資源管理コースの内容は、一般管理が重視される業務と現場が重視される業務が混在している。それらの切り分けを考える必要がある。
- 復旧・復興コースの内容は、形式知化されておらず各地域や時代にあわせた特殊な事例である。実務担当、一般管理を問わず次の復興に向けた問題意識を持つことが重要で、職位による分割が難しい。むしろ職位によらず立場や世代を超えた議論ができることが有意義だと思う。
- 職位だけでなく『事例』は一つのポイントとなるのではないか。研修後のフォローアップとしても事例を提供することは有効である。
- コーディネーター全体で意見交換できる場があると議論しやすい。また、職位別に各コースの内容を俯瞰してチェックするコーディネーターが必要ではないか。

# 【参考】被災者支援コースにおける「実務担当が学ぶべき業務」

|    |                              |   |                                      |                          |              |               |
|----|------------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------|--------------|---------------|
| 1  | 被災者支援総論                      |   |                                      |                          |              |               |
| 2  | 災害救助法と被災者生活再建支援法             | 法律の概要                                       | 適用のための実務                             | 適用事例                     |              |               |
| 3  | 避難所のライフサイクル                  | 災害対策本部体制における避難所班<br>(とりまとめ・物資供給・応援配置)       | 避難所運営の業務<br>個々の避難所運営                 | 避難所運営の実際                 |              |               |
| 4  | 避難所運営の実際                     | x   | x                                    | x                        |              |               |
| 5  | 福祉避難所のライフサイクル                | 災害対策本部体制における要配慮者支援班<br>(とりまとめ・物資供給・応援配置)    | 避難所運営の業務<br>個々の避難所の運営                | 避難所運営の実際                 |              |               |
| 6  | 要配慮者をはじめとする避難者の避難生活支援        | 要配慮者をはじめとする避難者<br>避難所支援                     | 要配慮者をはじめとする避難者<br>在宅支援               | 要配慮者をはじめとする避難者<br>施設支援   |              |               |
| 7  | 医療による被災者支援                   | 医療による被災者支援<br>防災との連携のあり方                    | 保健による被災者支援<br>防災との連携のあり方             | 福祉による被災者支援<br>防災との連携のあり方 | 医療保健福祉本部との連携 |               |
| 8  | 多様な主体による被災者支援<br>／被災者支援の個別課題 | 遺体処理  | 広域避難                                 | 帰宅困難                     |              |               |
| 9  | 生活再建支援業務                     | 住家被害認定調査                                    | 調査結果のデータ化                            | 罹災証明発行                   | 生活再建支援相談     | 実施体制<br>平時の検収 |
| 10 | 個別避難計画の作成                    | ハザードの理解<br>(警報避難コース)                        | 計画策定のための体制構築<br>先行事例                 | 避難行動要支援者名簿<br>作成・共有・管理   | 計画作成の実際      | 訓練等の実践        |
| 11 | 演習                           | 災害対策本部体制における避難所班<br>【一般管理】<br>避難所の運営業務/全体討論 | 個々の避難所運営<br>【実務担当】<br>災害時のトイレ問題/全体討論 |                          |              |               |

## ●その他の検討事項

### 「組織運営入門」「災害対策横断」について

- 「組織運営入門」「災害対策横断」については、R6の検討とあわせて、対象範囲や教える内容を整理する。
- 一方で、異なる職位の内容を学びたいという需要はあることから、**令和6年度は段階的に、各コースの総論の単元をすべての受講者が視聴できるように**してはどうか。
- 令和7年度以降に、「組織運営入門」の対象範囲を広げるとともに、「災害対策横断」として、上級管理向けの内容の単元を作成する。

#### 令和6年度

- 組織運営入門：すべての受講者が組織運営4コースの総論を視聴可
- 災害対策横断：すべての受講者が災害対策5コースの総論を視聴可

#### 令和7年度以降

- 組織運営入門：すべての受講者が組織運営4コースの概論及び視聴推奨の単元を視聴可
- 災害対策横断：災害対策5コースにおいて、上級管理向けの単元を作成  
上級管理の受講者は上記単元の**視聴が必修**  
実務担当、一般管理の受講者が災害対策5コースの概論を視聴可

災害対策（オペレーション）

組織運営（マネジメント）

防災基礎

防災基礎（完全オンデマンド・全コースで受講必須）

災害への備え

警報避難

応急活動資源管理

被災者支援

復旧復興

指揮統制

対策立案

人材育成

総合監理

総論

総論

総論

総論

総論

総論

総論

総論

総論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

凡例（色）

実務担当

一般管理

上級管理

演習

演習

演習

演習

演習

演習

演習

演習

演習

演習

演習

演習

演習

職位別演習

災害対策（オペレーション）

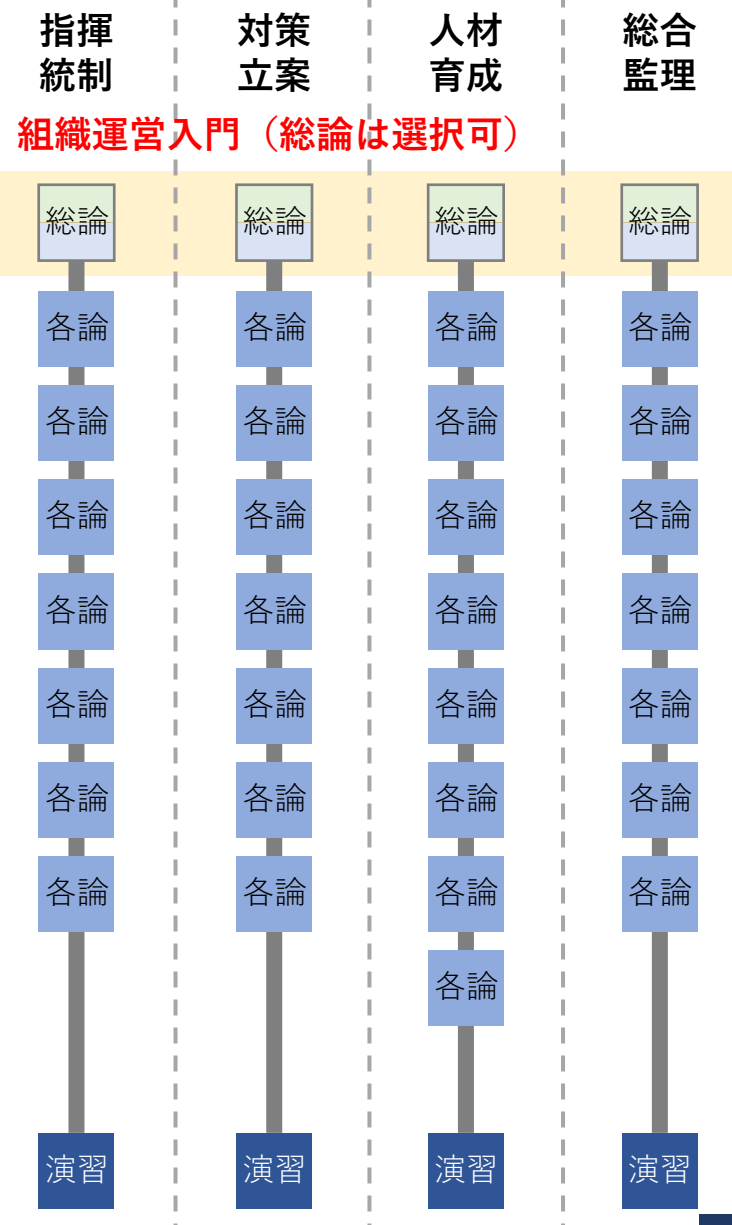
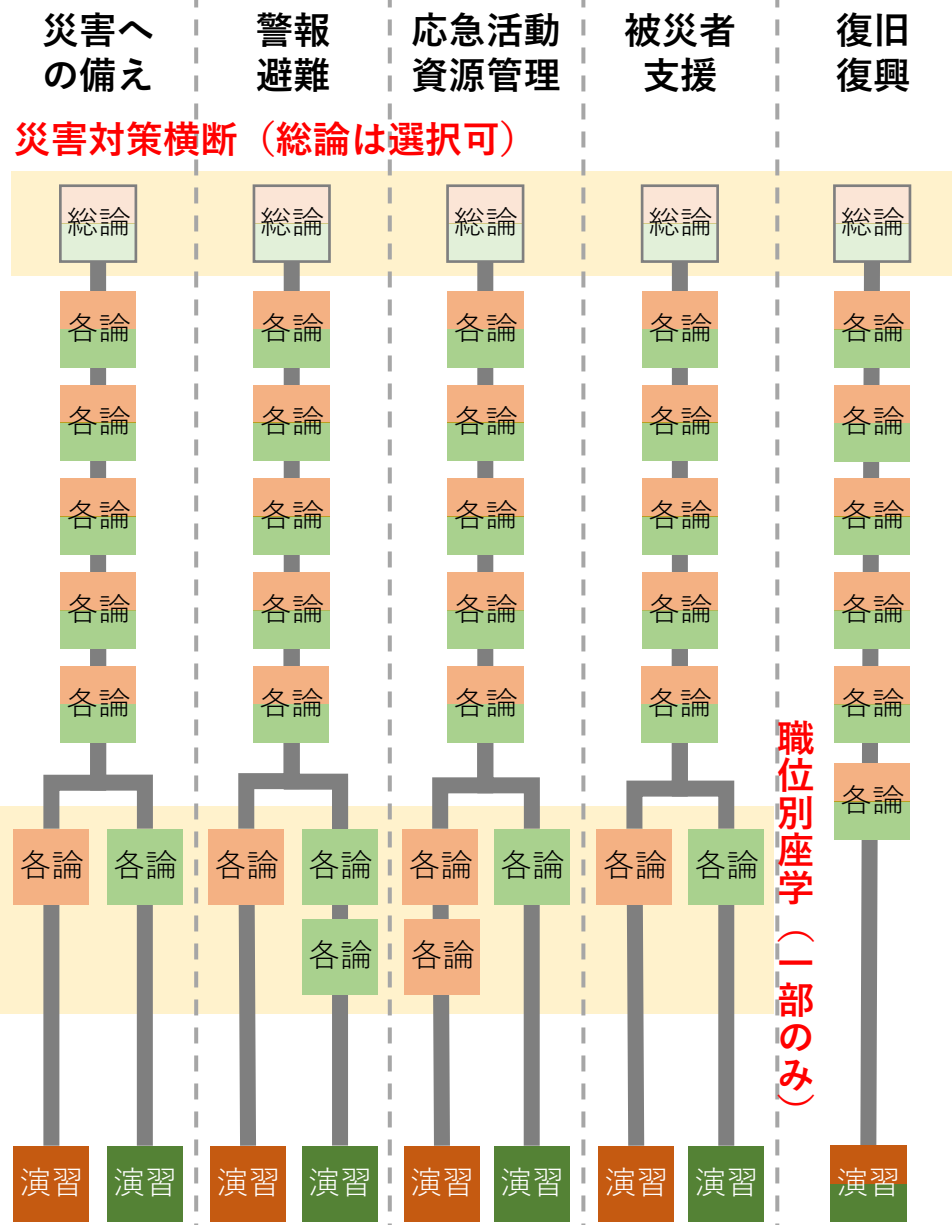
組織運営（マネジメント）

防災基礎

防災基礎（完全オンデマンド・全コースで受講必須）

凡例（色）

- 実務担当
- 一般管理
- 上級管理



防災基礎

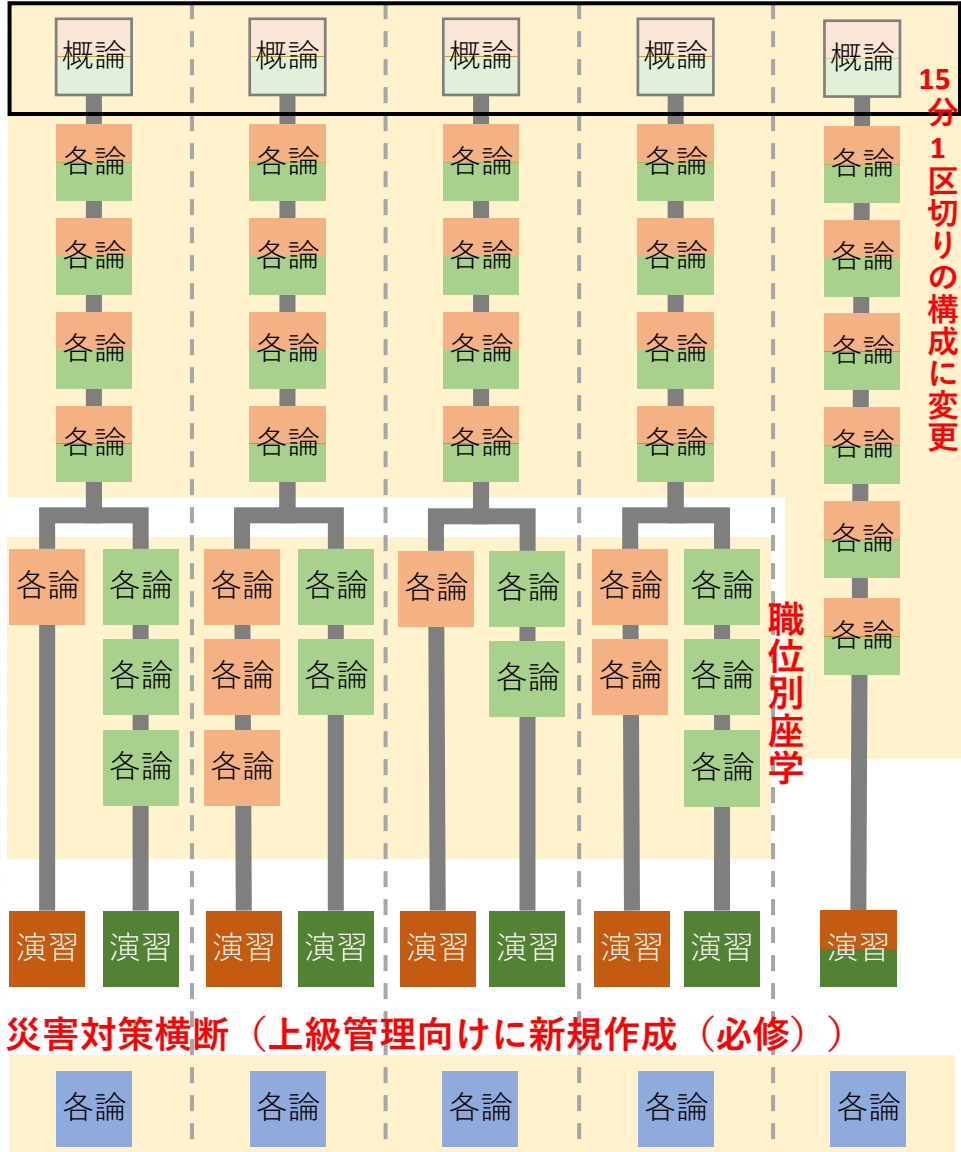
防災基礎 (完全オンデマンド・全コースで受講必須)

凡例 (色)

- 実務担当
- 一般管理
- 上級管理

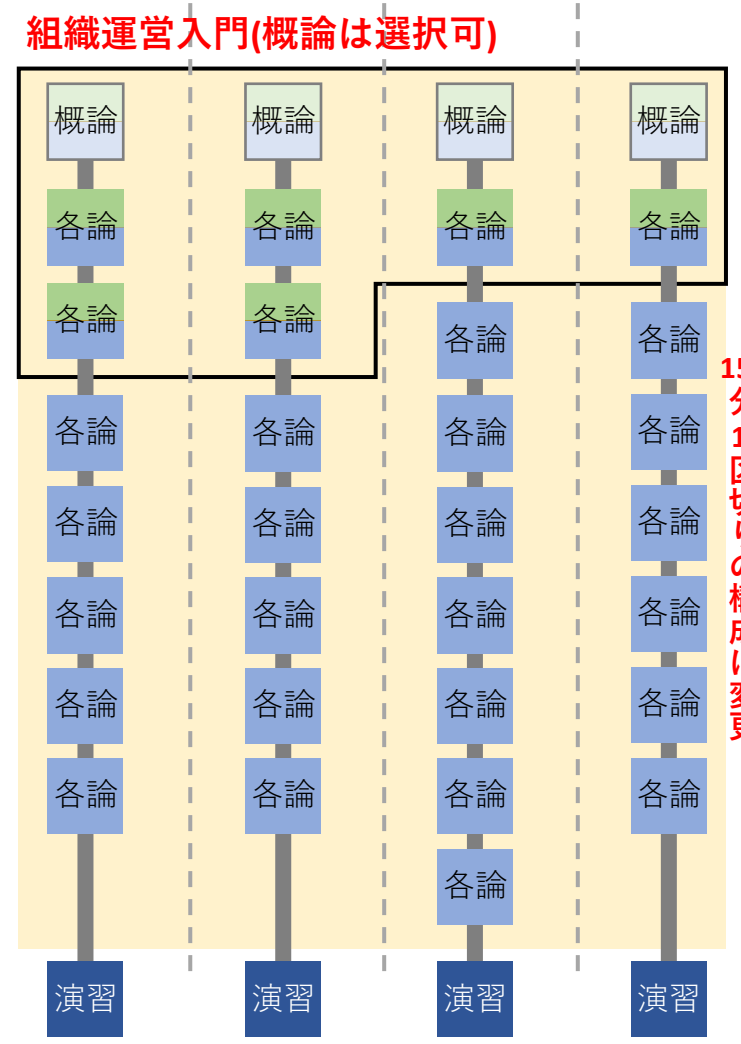
災害対策 (オペレーション)

災害への備え      警報避難      応急活動資源管理      被災者支援      復旧復興



組織運営 (マネジメント)

指揮統制      対策立案      人材育成      総合監理



15分1区切りの構成に変更